

令和元年度

事業報告

【重点項目】

- 1 地域住民に選ばれ、利用者に喜ばれる施設にする。
- 2 誇りを持てる職場にする。
- 3 経営基盤の安定化を図る。

社会福祉法人おおぎだ

目 次

令和元年度社会福祉法人おおぎだ事業報告

事務局.....	p1
各事業所別事業報告	
特別養護老人ホームローズヒル(従来型・ユニット型)	p5
短期入所生活介護(ショートステイサービス)	p7
茂呂デイサービスセンター	P8
美茂呂デイサービスセンター	p9
ケアハウス菜の花.....	p10
茂呂ヘルプサービスセンター	p11
茂呂居宅介護支援事業所	p12
厨房部門	p13

事務局概要報告

1 重点項目に基づき報告

(1) 地域住民に選ばれ、利用者に喜ばれる施設にする。

- ①平成30年度に引き続き、鯉のぼりの掲揚、伊勢崎市オープンガーデンの参加、介護予防フェスタ「よりみち講座」を行いました。また、毎月ロビーコンサートを行い、施設内の利用者だけでなく、ご家族や地域の方にも参加していただきました。
- ②デイサービス部門では、茂呂デイサービスと美茂呂デイサービスの特色を出すために、介護度により利用者の変更を行うこととしました。

(2) 誇りを持てる職場にする。

- ①特定処遇改善加算取得により、10月から処遇改善分として月100万円程度の収入が増額しています。キャリアパスモデルの見直しを行い、分配方法について明確化することで、職員のスキルアップと処遇の更なる向上に繋げています。
- ②人材確保では、昨年度22名の介護職員の入職がありました。応募の経路としては4名の入職者がおおぎだ職員の紹介(マッチング)制度でした。

(3) 経営基盤の安定化を図る。

- ①「最期まで看取る」のビジョンのもと、在宅部門から施設部門まで切れ目なくサービスが提供できるように、各部署においてサービスの立案を行っています。
- ②嘱託医(産業医)との話し合いを毎月行い、安全衛生委員会を通じて、利用者や職員の健康管理を検討しました。新型コロナウイルス対策として、全職員に携帯用消毒ボトルを支給し、定期的な換気を行う事で感染予防に努めています。
- ③特養20床の増床では、土地の購入、設計管理会社との契約、施工会社との契約を行いました。また、増床を見込み低床タイプのベットの入れ替えを行っています。

2 理事会・評議員会

- (1) 理事会開催
定例理事会 (5月30日、10月28日、3月27日)
臨時理事会 (6月18日、2月4日)
- (2) 評議員会開催 定時評議員会 (6月18日)
- (3) 選任解任委員会開催 (6月11日)

3 施設運営管理

- (1) 土地取得
- (2) 離床センサー付ベット 超低床タイプ
- (3) パソコン OS Windows10 グレードアップ
- (4) 美茂呂デイサービス車両入れ替え
- (5) 運営委員会開催 2回開催
- (6) 法令管理体制委員会 4回開催
- (7) 増床検討委員会 13回開催

4 予算・事業計画管理

(1)月次報告

(2)管理者会議 25 回開催

職員処遇、求人関係、規程の改正、役員会・評議員会開催準備、制度の対応、
予算関係、研修関係

5 人事・組織管理・人材育成

(1)令和元年4月1日現在の職員数

総数 127 人

	特養(短期含む)		ケアハウス		訪問介護		茂呂デイサービス		美茂呂デイサービス		居宅介護支援事業	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
施設長 (管理者)	1 (統括1)		(1)		(1)		(統括1)				1	
副施設長		1										
医師		(1)										
生活相談員	2		1				1		1			
サービス提供責任者					1	1						
介護職員	50	22	1				2	5	2	3		
看護職員	5	2					1	1	2			
訪問介護員						7						
介護支援専門員	2										2	
機能訓練指導員	1											
管理栄養士	1											
事務員	3	3										
合計	65	28	2		1	8	5	6	6	3	3	

注:()は総数に含まれない。

(2)入・退職状況

	職員	専門職準職	一般準職員	嘱託	合計
入職者	6 (7)	0 (1)	16 (14)	0	22 (22)人
退職者	9 (8)	0 (0)	3 (5) 5(学生アルバイト)	0	17 (13)人

注:()は昨年度実績

(3)評価、処遇調査、個人面談実施

(4)学生アルバイト採用者 0 人

6 自己研修 各事業所の報告による。

7 防災対策

- (1) 防災委員会 2 回開催、研修会 1 回開催
- (2) 消防訓練(昼想定)・水害訓練 9 月実施
消防訓練(夜想定)・防犯訓練 3 月実施
- (3) 建築物、建物の点検(自主点検)実施 9 月、3 月

8 施設・設備維持管理

- (1) 空調・ボイラー設備点検 6 月
- (2) 全館定期清掃 9 月
- (3) 受水槽・水質検査点検 5 月
- (4) 厨房害虫調査 毎月実施

9 安全衛生

- (1) 感染対策・事故防止委員会開催 各事業所報告による。
- (2) 安全衛生委員会 2 回開催、臨時 3 回開催
職場巡視 11 回実施、嘱託医との話し合い 12 回開催
- (3) 浴槽ろ過装置点検実施 7 月
- (4) 浴槽水質検査実施 5 月
- (5) 職員健康診断実施 4 月(夜勤者)、10 月全職員
- (6) インフルエンザ予防接種実施 12 月
- (7) ストレスチェック実施 9 月
- (8) 腰痛予防アンケート実施 10 月、3 月(特養)

10 サービスの向上

- (1) 連携会議 12 回開催
利用空き情報、事業所間の情報交換と業務改善提案、地域や家族の情報交換、
月次報告、増築の進捗状況、理事会・評議員会報告、介護報酬改定 10 月
- (2) 生きがいサポートプロジェクト実施
 - ① 業務改善掃除について 3 回開催
 - ② 評価について 7 回開催
 - ③ 看取りについて(看取りシェア会) 5 回開催
- (3) 苦情改善委員会開催 9 月、研修会 9 月
苦情受付・皆様の声(意見箱)

受付日	申出人	内容
9 月 15 日	特養入所者家族	個人情報と電話対応について
10 月 8 日	ショート利用家族	遅くまで TV を観ていたことについて
1 月 6 日	デイ利用家族	記録の間違いについて
3 月 1 日	皆様の声(意見箱)	面会者用名札のストラップが汚れている

11 地域福祉関係

(1) 入所家族に関する事項

ローズヒル・短期入所者への面会状況

年 度	入所者の定員	年間	月平均
平成 29 年度	130 人	5,168 人	430 人
平成 30 年度	130 人	5,441 人	453 人
令和元年度	130 人	5,169 人	430 人

(2) ボランティア状況

- ①意見交換会と感謝会 中止
- ②慰問等は各部署の報告による。
- ③感謝状授与状況

年 度	個 人	団 体
平成 29 年度	15 人	5 組
平成 30 年度	10 人	5 組
令和元年度	12 人	5 組

(3) 広報委員会 10 回開催

- ①おおぎだだより 23 号、24 号発行
- ②ホームページの更新 10 月

(4) 地域への広報活動

- ①ミニデイ支援
- ②チャレンジウィーク及び実習生の受入
- ③介護体験等の受入
- ④伊勢崎市公園緑地課主催「オープンガーデン」参加
- ⑤「知ってもらおう介護の仕事」は各部署報告による。
- ⑥鯉のぼり掲揚(期間 4 月 23 日～5 月 14 日)

※ 利用者家族、地域の方、職員家族、茂呂こども園から 26 人
群馬県立伊勢崎特別支援学校から 29 人の見学がありました。

12 福利厚生

(1) 親睦会 補助支給 1 人 約 6,000 円

- ①食事会、5ヶ所に分かれて開催(86名参加)
- ②クリスマスケーキ配布 (114名)

(2) 10 年表彰・アイデア表彰・職員紹介

	10 年表彰者	アイデア提案	職員紹介者
平成 29 年度	4 人(特養 2、デイ 1、居宅 1)	4 人(特養 4)	1 人(特養 1)
平成 30 年度	6 人(特養 5、デイ 1)	4 人(特養 4)	2 人(デイ 2)
令和元年度	2 人(特養 1、デイ 1)	3 人(特養 3)	4 人(特養 3、訪問 1)

注:()は所属部署

特別養護老人ホームローズヒル（従来型・ユニット型）

1 おおぎだの重点項目に基づき報告

(1) 地域に選ばれ、利用者に喜ばれる施設にする。

- ① 1丁目から10丁目までそれぞれに、ユニットごとの目標やテーマを掲げ、それをもとに飾り付けや、行事など行うことができました。平成最後の祝いや運動会、お化粧をする会、しそジュース作り、花火大会、アロマテラピー、各丁目の合同で行われたオートレース観戦、それぞれの秋祭りは総勢135名のご家族が参加いただき、年間で122行事が行われました。
- ② 伊勢崎市立第一中学校の生徒を「職場体験学習」で2名受け入れ、福祉の仕事を体験していただき、11月には訪問し、「知ってもらおう介護の仕事」で福祉の仕事のアピールや高齢者の疑似体験と、介護者を体験してもらいました。9月の消防訓練においても、地域、外部の方8名が参加していただき、防災時の協力体制を構築することができました。3月の訓練時は新型コロナウイルスの感染予防のため職員のみで行いました。
- ③ 「最期まで看取る」のビジョンのもと、ご家族との人生会議において、本人の生き方や、以前の暮らしなどの聞き取りを行い、本人らしい最後を送るお手伝いことができました。
ただ、基本的には、治療という方向で動いているため、実績として急には増えませんが、再度、ご家族への声掛けも行っていきたいと考えています。

・ 看取り実績 2件

・ 人生会議実績 2件

(2) 誇りを持てる職場にする。

① 職員研修・人材育成

【合同研修会開催実績】

- 4月 平成31年度のおおぎだ変更点周知・事業計画・働き方改革講話
- 7月 事故防止・身体拘束
- 9月 移乗・ポジショニングリハビリテーション研修 ・感染防止・看取り
- 11月 嘔吐物の処理方法(外部講師)
- 1月 事故再発防止・身体拘束・虐待・賞与のポイントについて
- 2月 ユニット発表会

【施設外研修】

- ・県集団指導 6/13
- ・中堅職員研修Ⅰ 2名全3回
- ・中堅職員研修Ⅱ 2名全3回
- ・ケアマネ研修会 8/26 1名
- ・褥瘡予防のためのスキンケア 2名
- ・看護研究部会研修 1名全8回
- ・チームリーダーキャリアアップ研修 1名全2日
- ・介護職員現任研修 10/15 1名
- ・雇用管理責任者講習 1名全2回
- ・身体拘束に関する研究会 2/8 1名

施設内研修参加者延べ 473名

外部研修参加者延べ 30回

【資格取得】

- ・介護支援専門員 更新者 1名
- ・介護福祉士国家資格合格者 2名
- ・医療的ケア指導看護師 1名

【実習生受け入れ】

- ・介護等体験 2名
- ・さくらカルチャー 1名
- ・IBC アカデミー 1名
- ・介護労働安定センター 2名

実習生の中から2名入職となる。

② 有給休暇取得実績

354.5 日／71名（有給取得日／職員数） 平均 4.99 日（H30 年度 3.6 日）

(3) 経営基盤の安定化を図る。

① ベッド稼働率(短期入所生活介護含む) 従来型 90.9% ユニット型 88.6%

② 下期より、介護職員等特定処遇改善加算 I を取得

③ 入院者数が延べで 69 回、そのうち救急搬送は 33 回でした。主な病名の大半は、肺炎・血中酸素飽和度の低下が一番多く、次いで食欲不振や骨折の順でした。ユニット型では、入院者数、退所者数が多く、稼働率の低下となりました。

平均利用期間では従来型 36.5 カ月 ユニット型では 34.6 カ月ですが、男女比では女性が 2 倍長く利用しています。安定して長く利用していただくことも、稼働率の向上に繋がります。

インフルエンザ感染状況 利用者 0 人 職員 2 人（H30 年 利用者 8 人 職員 3 人）

※ 平均介護度 従来型 4.06 ユニット型 4.00（参考 H31 年 3 月 従 3.95 ャ 3.98）

短期入所生活介護(ショートステイサービス)

1 おおぎだの重点項目に基づき報告

(1) 地域住民に選ばれ、利用者に喜ばれる施設にする。

① 受入れ体制の強化

・疾患等で受け入れ困難にならないよう、事業者やご家族から情報収集し、他職種と相談・連携し受け入れ強化を行いました。

※新規利用者 54名 (H30年度 41名)

・長期入所をされている利用者のご家族が余命宣告をされ、「少しでも一緒に過ごしたい」とのご希望を叶える為に、ご家族・ケアマネ・医療機関と連携し、ショートステイをご利用して頂く事ができました。

② 緊急ショートの受け入れ

利用者・そのご家族が緊急時の場合は調整を行い、利用して頂く事ができました。

(2) 誇りを持てる職場にする。

特別養護老人ホームローズヒルに同じ。

(3) 経営基盤の安定化を図る。

① 令和2年2月より、看護師が不足の為、看護体制加算の算定ができなくなりました。

② 下期より、介護職員等特定処遇加算Ⅱ取得。

2 会議、行事等については特別養護老人ホームローズヒルに同じ。

茂呂デイサービスセンター

1 おおぎだの重点項目に基づき報告

- (1) 地域住民に選ばれ、利用者に喜ばれる施設にする。
 - ① 毎月のおやつ作りは、利用者によりがいを持っていただけるよう、役割分担を決めて、参加していただきました。男性利用者にも好評でした。
 - ② 利用者のニーズに沿って午後の入浴を行いました。
 - ③ 地域のミニデイ支援は、北千木町 3 回・今泉 1 丁目 4 回・茂呂町 2 丁目 1 回。
 - ④ 6 月に、茂呂居宅介護支援事業所と「よりみち講座」を開催し、32 名の地域の方に参加いただきました。
 - ⑤ 地域のボランティアの方延べ 155 名にご協力いただき、レクリエーションの幅を広げました。ADL 体操(新規)9 回、音楽療法 19 回、お手玉会 8 回、歌謡会 7 回、他慰問等 36 回でした。
- (2) 誇りを持てる職場にする。
 - ① 業務分担の見直しを毎月行い、時短の職員と常勤の職員との連携が出来、安全な入浴と、利用者のしたい事(制作等)の支援ができました。
 - ② 4 月の異動と、利用者の増加に伴い、上期に職員の残業が増えてしまったため、下期で、業務分担の見直しを行い、午後の時間に記録ができるように工夫しました。
- (3) 経営基盤の安定化を図る。
 - ① 月平均 515 名の目標に対して、604 名で、目標を達成できました。
 - ② 新規利用者を、32 名にする目標に対し、40 名の方が利用となりました。
 - ③ 早朝からの利用や、早帰り、午後から利用、時間延長など、利用者のニーズに合わせた柔軟な対応をしました。
 - ④ 「最期まで看取る」のビジョンのもと、デイサービス利用からショート利用へとバトンを渡すよう努めました。来期も続けていきます。
 - ⑤ 年間利用者数(人)

介護度 \ 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	前年比
要支援 1.2	445	649	390	60%
要介護 1~5	4977	5396	6858	128%
計	5422	6069	7248	119%

2 定例会議

- (1) ミーティング(1日4回)・ケース会議・職員会議(月 1 回・第 2 水曜日)。
- (2) デイサービス運営会議(美茂呂デイと合同・月 1 回・第 3 金曜日)。
交流会や、ミニデイ支援、ヒヤリハット、事故報告等、職場で起きている問題等について情報交換を行いました。

3 行事・研修等

- (1) 今年度は、お花見等の外出行事や、おやつ作りに参加するのが楽しかったという利用者の声が多かったです。茂呂デイ通信・空き情報 月 1 回発行。
- (2) 施設外研修:初任者研修 1 名、中堅職員研修 1 名、チームリーダー研修 1 名。
県集団指導 1 名、避難確保計画 1 名、他延べ 14 名が参加しました。
月例研修は、延べ 75 名参加しました。

4 その他

- (1) 実習生受け入れ 9 名・はつらつ社会体験活動(伊勢崎市立第一中学校)2 名。
- (2) 「知ってもらおう介護の仕事」に、職員 2 名が参加しました。
- (3) ヒヤリハット:7 件 事故報告:10 件でした。

美茂呂デイサービスセンター

1 おおぎだの重点項目に基づき報告

- (1) 地域住民に選ばれ、利用者に喜ばれる施設にする。
 - ① 外出や散歩、カラオケ、麻雀・将棋・囲碁、手芸等、利用者個人個人のやりたいことを見出す支援が出来ました。囲碁・将棋は、ボランティアの協力を得て今年度はじめて行いました。また、認知症の方に対しては、体操のDVDを活用し、身体を動かしていただきました。
 - ② 入浴後には、飲み物を利用者に選んでいただきました。
 - ③ 延べ30名の地域ボランティアの方々に協力いただきました。(整髪・飲み物提供等)
 - ④ ミニデイ支援は、北千木町 2回・今泉1丁目4回行っています。
- (2) 誇りを持てる職場にする。
 - ① 有給休暇が5日以上取得できました。
 - ② 職員が協力して働けるように、美茂呂デイ会議(今の問題と今後について)を本部事務部門と一緒にいき、前向きに働くことのできる職場作りを考えました。(R1/1/25)
- (3) 経営基盤の安定化を図る。
 - ① 利用者1日平均20名の目標に対し、17.3名でした。
 - ② 新規利用者11名、お試しは8名でした。
 - ③ 「最期まで看取る」のビジョンのもと、美茂呂デイサービスから茂呂デイサービス、ショートへバトンを渡すよう努めました。要支援は、2割増加し、要介護は、1割減少しています。
 - ④ 茂呂居宅支援事業所との意見交換会を行い、ニーズに応えたサービスの提供を考えました。(10/9と11/13)
 - ⑤ 年間利用者数(人)

介護度 \ 年度	H29年度	H30年度	R1年度	前年比
要支援 1.2	642	558	781	138%
要介護 1~5	5749	5427	4611	85%
計	6391	5985	5392	90%

2 定例会議

- (1) ミーティング(1日4回)・ケース会議(カンファレンス)・職員会議(月1~2回)。
- (2) デイサービス運営会議(茂呂デイと合同・月1回・第3金曜日)
ヒヤリハットや事故報告等、職場で起きている問題などの情報交換を行いました。

3 行事研修等

- (1) みもろだより・空き情報の発行、月1回。
- (2) おやつ作りでは、人気のメニューを行い、好評でした。来年度も引き続き行っていきたくて考えています。
- (3) 利用者が、テラスの菜園で、じゃがいも・ナス・きゅうり・などの野菜の栽培・収穫を楽しめました。
- (4) 作品作りでは、フェルトやお花紙で、季節の飾りを作りました。
- (5) 施設外研修は、福祉施設等中堅職員研修Ⅱと県の集団指導に1名ずつ参加。
来年度は一人1回参加できるようにしたいです。
月例研修は、延べ43名参加しました。

4 その他

- (1) ヒヤリハット:5件 事故報告:8件でした。

ケアハウス菜の花

1 おおぎだの重点項目に基づき報告

(1) 地域住民に選ばれ、利用者によろこばれる施設にする。

- ①今年で3回目の伊勢崎市主催のオープンガーデンを5/11、12日に開催し、地域の方から頂いた多くの花も観る事ができました。(来園者約150人)
- ②北千木作品展に参加と見学。(5名)
- ③群馬県立伊勢崎特別支援学校(きりのこ祭)に見学。(6名)

(2) 誇りの持てる職場にする。

- ①毎日の掃除の他、週1回 玄関(タイル・床・ガラス)、洗濯室(床・洗濯機・乾燥機)についても掃除をして気持ちの良い環境づくりが出来、感染予防にも繋がられた。
- ②体を動かす行事に多くの入居者が参加することが出来た。

		上期	下期
みんなの体操	(週3回) 1回あたり参加人数	7人	8人
筋トレ	(週1回)	6人	8人
ADL体操	(月1回)	7人	9人
	新型コロナウイルス感染防止の為3月実施なし)		
カラオケ	(週2回)	6人	5人
自由活動	(週1回)	3人	3人

(3) 経営基盤の安定化を図る。

- ①稼働率96% 月平均14.4名に達することが出来た。
- ②待機者への連絡がとれない人がいるので、今後電話以外の方法を考えていく。
- ③連携会議で毎月空室情報を報告し、入居に繋げることが出来た。
- ④入退去時の原状回復を迅速に行い、連携会議等で空室状況を共有することが出来た。
- ⑤ハウスクリーニング業者を1業者から2業者に増やしたことで、原状回復終了までにかかる日数を減らすことが出来た。

2 基本的サービス提供計画、行事、会議等

計画された行事については予定通り実施出来た。

3 非常災害対策及び事故防止対策・苦情解決体制

消防訓練・水害訓練 9/25 7名参加

消防訓練・防犯訓練 3/6 (新型コロナウイルス感染防止の為入居者不参加)

4 職員の各種研修計画(OJT・OFF-JT)

(1) 施設内研修

- ①感染症委員会 4回、研修会 2回
- ②事故防止委員会 4回、研修会 2回
- ③身体拘束委員会 4回、研修会 2回

(2) 施設外研修

- ①経費ケア研修会 2名参加
- ②市内ケアハウス見学 3名参加

5 地域交流、広報及び実習生・ボランティアの受け入れ

- ①「ローズヒル菜の花自然園」ボランティア協力者の受入 延人数13人
- ②伊勢崎市主催オープンガーデン参加

6 その他

1年を通して庭の手入れをし、その後季節を感じて頂くよう庭でお茶会を行った。

茂呂ヘルプサービスセンター

1 おおぎだの重点項目に基づき報告

(1) 地域住民に選ばれ、利用者に喜ばれる施設にする。

各居宅支援事業所との連携を図る事が出来た。

自立して生活が送れるよう生活全般の援助が出来た。

(2) 誇りを持てる職場にする。

ヘルパー会議等でヒヤリハットや事故事例、接遇、マナー等を学ぶことが出来たが、法令遵守については個人情報を含め、次年度に再度取り組み。

(3) 経営基盤の安定化を図る。

① 目標 650 時間に対し 679 時間の結果だった。

② 登録ヘルパーが 3 名の増となり、全員で 9 名となったことにより目標時間に達することができた。

③ 身体介護での利用時間は、平成 31 年 3 月末は 213 時間だったが、令和 2 年 3 月末では 318 時間となり、105 時間の増となった。

2 利用者状況

(1) 利用時間

① サービス提供時間 月平均 実績 = 613 時間 (目標 = 650 時間)

② 年度別比較

年度	月平均利用時間
平成 29 年	486 時間
平成 30 年	517 時間
令和 元年	679 時間

(2) 利用者数

合計 55 人 (前年度 41 人)

令和 2 年. 3. 31 現在

要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
5	10	15	12	11	1	1

(人)

(3) 新規利用

① 16 人 内訳は、要支援 9 人、要介護 7 人でした。(昨年度 14 人)

* 当施設内茂呂居宅介護支援事業所からの新規紹介 5 人。(昨年 2 人)

(4) 時間追加希望

6 人 (前年度 7 人)

3 職員研修

(1) 施設内研修

ヘルパー会議 毎月 1 回 12 回開催

特定処遇改善加算について研修会参加 7 名

感染症研修 9 名

新型コロナウイルス感染症の対策 9 名

新型コロナウイルス利用者の濃厚接触者対応について 8 名

(2) 施設外研修 参加なし

茂呂居宅介護支援事業所

おおぎだの重点項目に基づき報告

- (1) 地域住民に選ばれ、利用者に喜ばれる施設にする。
 - ① 介護フェスタ（よりみち講座）を前年度に引き続き開催し、施設内の見学や筋力トレーニングなど行いました。今回は近隣の企業にも訪問し広報する事ができました。
 - ② 社会福祉協議会からの紹介者の対応や毎月の報告等も行え、新たなボランティアの方（6人程の申し込みにて2名定期的に来られている）を増やしています。
 - ③ ミニデイは、今泉町1丁目（8回）、北千木町（4回）、茂呂町2丁目（1回）など派遣依頼にて、デイサービスと協力して支援を行いました。ロビーコンサートも毎月チラシを作成、配布し、デイサービス利用者やケアハウス入居者、特養入所の方を中心に定期的に開催する事ができました。
11月に『知ってもらおう介護の仕事』の窓口担当として、伊勢崎市立第一中学校に訪問しました。中学2年生（161名）を対象に、介護の仕事の紹介や疑似体験を通して介護職の広報活動を行う事ができました。
 - ④ 施設見学を行い、地域の介護サービスの情報を収集及び評価し、利用者・家族の希望にあったサービスの提供を行っています。
- (2) 誇りを持てる職場にする。
 - ① 地域包括支援センター主催の研修会（7回）や主任ケアマネ更新に必要な法定外研修（7回）施設内研修など、各ケアマネが必要と思われる研修に参加しました。主任ケアマネ研修（全12回）を終了した事で新たに主任ケアマネ資格者が1名増え計2名となりました。
 - ② 居宅会議としては、定期的を開催できませんでしたが、その都度、報告や確認を行っています。
- (3) 経営基盤の安定化を図る。
 - ① 地域包括支援センターからの予防支援ケアプラン受託業務依頼が10件、病院相談員からの紹介は5件など以前より紹介数は増えており、滞りなく業務を進める事ができています。
 - ② 入院時情報連携加算に関しては、入院後3日以内での提出が行えており7件程度の加算を取得しています。
 - ③ 訪問介護に対する特定事業所集中減算に関しては、4月より減算（利用者一人に対して200単位）の対象外となりました。

2 基本方針、サービス提供目標

(1) 基本方針

アセスメントをきちんと行い、社会資源、介護サービスを利用して、利用者・家族の意向を尊重して、可能な限り住み慣れた環境で生活できるように支援を行い、状態悪化の防止推進を行っています。

(2) サービス提供目標に対する実績

	目標	前年度	今年度
要支援	24件	月平均 31件	月平均 33件
要介護	99件	月平均 73件	月平均 77件

令和元年度は新人ケアマネ1名を含む3名で業務を行いました。要介護件数は目標を達成できませんでしたが、前年度より実績件数の平均は上回る事ができました。

厨房部門

1 行事

- (1) 行事食(月 1 回 全 12 回実施)、
- (2) 各部署にリクエストしたセレクト食(月 1 回 全 12 回実施)
- (3) 郷土料理(月 1 回 全11回実施、12 月はクリスマスメニュー)
- (4) 世界の食と遺産を訪ねてのイベント食(月 1 回 全 12 回実施)
- (5) その他
 - ①各部署の行事計画に沿ったサービスの提供
(お誕生日会、秋祭りなど)
 - ②毎月 1 日の昼食はお赤飯提供
 - ③月に 1 回日曜日の昼食は特養にパン提供
 - ④毎週日曜日の昼食はケアハウスに様々な種類のパン提供
 - ⑤各部署のおやつ作りの材料を提供
 - ⑥介護フェスタにおける、調理実習の開催

2 定例事業

- (1) 給食サービス委員会(月 1 回、全 12 回)
- (2) 嗜好調査 11 月
- (3) 残食調査(毎食後)、評価・報告 6 月、9 月、12 月、3 月
- (4) 備蓄食品点検 9 月
- (5) 給食施設実施状況報告 12 月

3 日常事業

- (1) 栄養ケアマネジメントによる個々の栄養管理
(入所者の身体状況管理、喫食量の把握、嗜好調査、栄養ケア計画・評価など)
- (2) 栄養帳票・衛生帳票の管理
- (3) 厨房職員への衛生指導(衛生勉強会 全 12 回等)

4 職員研修会

- (1) 安全衛生委員会
「食中毒と感染予防」 6 月
- (2) グリーンハウスグループ
刺身衛生講習会 8 月 (3 名)
食品衛生責任者講習会 3 月 (3 名)
- (3) 伊勢崎保健福祉事務所
給食関係者研修会 9 月 (1 名)